

特集

オヤジ、楽しむ↓世界が変わる！



熊本市市民活動支援センター・あいぽーと



ボランティア

ボランティア活動を始めたい、ボランティアを募集したい等の様々な相談を受け付けています。また個人、団体でのボランティア登録を受け付けており、登録された方には定期的にボランティアに関する情報をお届けしております。ボランティア活動に興味のある方はぜひご来館ください。



NPO法人

NPO法人の設立・運営に関する相談や、各種提出書類の相談窓口を開設しています。特に、法人の設立及び定款変更の認証申請書類の作成に関しては、留意していただく事項が多いため、申請書類の作成に関する質問、提出書類の確認をするなどの事前相談を実施しております。また法人の活動状況把握のための訪問や、要望に応じたの出前相談会も行っております。



くまもと・わくわく基金/その他助成金

「くまもと・わくわく基金」や「その他助成金」に関する相談を受け付けています。「くまもと・わくわく基金」から助成を受けるには、あらかじめ基金団体登録をしていただく必要があります。申請書や報告書など書類の書き方の説明や、団体の運営相談などを受け付けています。また、「その他助成金」に関しては、ホームページでの情報掲載や、窓口での説明・紹介等を行っております。



Let's go あいぽーと!

あいぽーとでのイベント情報をFM791のラジオで毎週月曜日朝8時40分より配信しています。「Let's go あいぽーと」を聴いてあいぽーと情報をゲットして遊びに来てください。

放送日/毎週月曜日 8:40~

※生放送のため、開始時間が前後する場合がございます

あいりぽーと

毎月、あいぽーとスタッフが、熊本市内で活動されている団体取材し、FM791のラジオ番組「校区のチカラ」の中で取材報告をしています。

放送日/毎月第2金曜日 14:00~

詳細については、お気軽に下記までお問い合わせください。

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

TEL:096-366-0168 FAX:096-366-8830
Mail:aiport_kumamoto_city@joy.ocn.ne.jp



ホームページは
コチラから

もくじ
contents

特集 オヤジ、楽しむ → 世界が変わる!

- オヤジ、楽しむ → 世界が変わる! 02
- クローズアップ 人 01
- あいず ボランティアレポート 06
- くまもと・わくわく基金レポート
平成30年度 助成事業の成果レポート 08
- わくわく基金「その後の話」 10
- ご協力のお礼と寄附者のご紹介 12
- 令和元年度 助成事業の紹介 13
- アクティブNPO 14
- 数字で見る“あいぽーと” 16
- あいず川柳道場 17

●表紙について

「オヤジ、楽しむ → 世界が変わる!」

特集ページに登場頂いた「ヒノキミオヤジダンサーズ」の皆さんの決めシーンをバシバリ。撮影のため、数十秒にわたってこの体制を維持していただきましたが、なかなか大変だったそうです(笑)。都合で先に帰ったため、表紙写真の撮影に間に合わなかったメンバーからは「くやしっ!」とのコメントが!



クローズアップ



社会貢献活動は
生き方の勉強!

石井 憲子

略歴
特定非営利活動法人教育支援プロジェクト・マスター次長理事・特定非営利活動法人熊本教育振興会理事。子どもの園に出会った音楽の先生に憧れ、教員の道へ。定年退職後、学生時代の仲間と共に団体を立ち上げ、「学校支援」「保護者支援」「地域支援」に携わる。

子どもの頃から憧れだった教員として定年まで勤め、その後は「教育支援」の道へ。子どもたち、現役の教員たちへのサポートだけに留まらない石井さんの活動とその想いをたずねました。

——「教員」から「支援者」へ。
その道をたどった理由は?

近年は人々の価値観や生活様式、そして子育て環境が多様化し、教員にも新たな課題が生じています。日々の雑務に追われ、1人で30数名もの子どもたちに対応するにも限界があります。そんな先生方の多忙さを知るがゆえに、少しでもお手伝いできることはないかと、子どもたちと学校を支援する団体を立ち上げました。当初は大学時代の仲間たちと、今では元教員や保育士、教育関係者、PTA活動の経験者など、同じ想いを持つ人たちが集まり、それぞれの得意分野を活かして楽しく活動し、いつの間にか12年目になりました。

——次々と新しい活動に取り組む石井さん。
その原動力は?

先生や子ども達に向けた学校支援の他に、保護者への支援も行っています。保護者の皆さんと子育てについて語る「子育てトークの会」という事業や、各地域の公民館で地域の

リーダー育成などの講座を行っています。それぞれの区や町に、キラリと光るリーダーが多く存在すれば、その人に巻き込まれて地域が、そして熊本市全体が活性化して住み良い街になるでしょう。

——どちらも、私の原動力になっているのは仲間
の皆さんと一緒に活動を通しての「学び」と「変化」です。ものの見方、考え方が変われば、生活の在り方も変わります。そのことが人生の幸せにつながると信じています。

——活動を通じて得たものは?

社会貢献活動は、自己の生き方の勉強であると強く感じています。「明日死ぬと思っ
て生きなさい、永遠に生きると思っ
て学ばなさい」というガンジーの教えどおり、人生は本当に死ぬまで勉強ですね。教員を退職してからは、それまで知らなかった世の中の勉強をさせていただいています。「今ならもっと良い授業ができるかも」と元教員仲間と語っています。今後の課題は、次の世代へと支援を繋げていくこと。今までは、教員時代の繋がりを活かしてダイレク
トな支援ができていましたが、世代が変わることでも難しくなると思います。地域との繋がりを持つ新世代のリーダーさんがたくさん生まれ、その輪がさらに広がっていく。そんな熊本市になりますように!



オヤジ、楽しむ

→ 世界が変わる



な、なんだこの楽しそうな
オヤジたちは!?

きっかけは校区のPTA活動

活動の母体となったのは、地元校区のPTAで結成した劇団だったそうです。学校行事やイベントなどで寸劇を披露するなどの活動をしてきた岩村さん達。なかなかの好評を博していましたが、そんな折、住民の方から「劇も楽しかばってん、踊ってみらんね?」とリクエストをいただき、劇団のメンバー有志が中心となって立ち上げたそうです。「城南を興奮のつばに巻き込んでやるうぜ!」という意気込みで練習を始め、地域のイベントや施設への慰問、リクエスト頂いた方のお誕生日会などを中心に活動しています。最近では遠方からの依頼も来るようになり、多い年では年間40回、1日に3回のステージをこなすこともあるとか!

パパ・ババンって?

アルファベットで表記すると「pop pop Bop Ban」。Pop Pop パパ、Bop Bop ダンス、Ban 禁止!、という意味が込められ、意識すると「パパ、あんまり踊りすぎないで!」という奥さんやお子さんからのメッセージになっているんだとか(笑)



親父たちから探る 市民活動を続ける秘訣

今回のあいず特集では「親父」にスポットを当ててみました。こんなにも楽しそうに踊る彼らへの取材から、市民活動を続けていくための秘訣を探ります!

市民活動を続けていく上で、「楽しむこと」は必要不可欠です。楽しいから人が集まり、活動がもっと元気になってゆく…。そんな好循環を見事に体現した「親父たちの団体」が熊本に存在しました! その名は「キノキミオヤジダンスーズパパ・ババン」。一体どんな団体なのでしょう? あいぼーと取材スタッフ、オヤジダンスーズの練習場所、そして地元で開催された夏祭りのステージへ潜入しました!



オヤジTOPICS

市民活動の世界には「オヤジ」が少ない!?

市民活動・ボランティア活動のプラットフォームである「あいぼーと」には、老若男女様々な方が個人登録しています。ですが、その中で30代から50代の特に男性、つまり「親父」たちの登録は他の世代や同世代の女性と比べても少ないのです。もっとも親父たちが活躍する熊本市になるためには、どんな作戦が有効でしょうか?



リーダー
岩村さん

親父だって活動したい!

社会のため、地域のため、そしてわが子のために、何か貢献したいと考えている父ちゃんは大有人在りです。オヤジダンスーズの活動は、「地域への想い」と「自分たちの楽しさ」を同時に叶えることができるので、親父たちの原動力になっているのかもしれない。



あいぼーと
取材スタッフ

親父が楽しむ姿はインパクト大!

なかなか目にする機会が少ない分、父ちゃんたちが楽しそうに活動している姿は、見ている方にも影響大! オヤジダンスーズのステージを見て、世のお父さんたちにも「こんなに楽しんでいるんだ!」「自分も何かやってみよう!」と思う人が増えるのではないのでしょうか?

関わる人がみーんな笑顔に！
メンバーからの「コメント」をご紹介します。

参加も練習も決して強制ではありません。この居心地の良さが大切！



ダンスがなかなか覚えられずメンバーの足を引「張っているかな」と思っていました。仲間たちは「それも持ち味」と言ってくれました。



今は楽しくてしょうがないです。



仲間と踊っている時間が一番楽しい☆見てくれた方から「楽しませてもらったよ」と声をかけてもらうこともありますが、むしろ自分達の方が楽しませてもらっていますね！

自分達が踊り、それを見ている皆さんが笑顔になってくれるのがとっても嬉しいです。



「楽しい」の連鎖！

家族を、仲間を、地域を巻き込み
どんどん広がるオヤジ達の活動！

「握りの「やってみよう！」から始まったオヤジ達の活動は、仲間、家族に、地域に、今でも影響を与え続けています。メンバーのオヤジ達だけでなく、その家族や、ステージを見に来た観客の皆さんにもヒノキミオヤジダンスについてインタビューを敢行しました。特に、メンバーの奥さんや子ども達など、その家族にもしっかり認められ、受け入れられている点に感動。リーダーの岩村さんは「自分たちが楽しいのはもちろんのこと、観てくれる人も楽しんで欲しい、地域の役に立ちたい」と語ります。その気持ちだけでなく本物だからこそ、地域や家族に愛され、活発に活動が続けられるのかもしれない。2018年度には、地域の方の推薦により、熊本善意銀行より地域ボランティア賞にも選ばれました。

また、「子ども達から高齢者の方々まで、この町が好き、ずっとこの町で暮らしたいと思ってもらえるように今後も頑張りたい」と語るのは副リーダーの下田さん。愛する自分たちの故郷、そしていつか子ども達の故郷となるわが町をもっと盛り上げるため、ヒノキミオヤジダンスの活動は続きます。



副リーダー
下田さん



最初は裏方のお手伝いとして参加していました。

お父さんが楽しそうに踊るところはすごくカッコイイ！

お父さんも一緒に踊れるのが嬉しい！

実は先にステージに立ったのは子ども達のほうで、この子達が楽しそうにしているのを見て、私も参加したくなりました！

取材後記

実際に取材してみて、みなさんがあまりにも生き生きしているのにびっくり！本当に全員が自分から積極的に参加しているように感じました。自分たちのダンスで皆さんが笑顔になり、その笑顔がまた自分たちのエネルギー源になる。そしてまた、地域のための活動に向かってゆく。とってもステキなエネルギー循環ですね。親父が元気になれば、地域も元気になる！今回の取材はそう思わせてくれました。

このオレンジ色のTシャツを着ていると、地域の方から声をかけられることが多くなりました。



着々と地域に根付いてきた気がします♪

練習の一番の楽しみは、やっぱり仲間に出会えること！



会場みなさんにも感想を聞いてみました！！

地域のイベントで何度も目にするようになりましたね。若い人たちが町のために時間も労力も使って活動してくれることを嬉しく思います。(60代女性)

最近この町に越してきて、今日初めて彼らのステージを観ましたが、すごいパワーですね。自分にも何かできることがあるかも…って思わず考えてしまいます。(20代男性)

ネット上でも人気ですよ。見たことあるの知ってました。自分のお父さんがメンバーだったらちょっと恥ずかしいとは思いますが。(10代男性)

ちょっとした町の有名人ですよ。(笑)。ウチの旦那がメンバーとして加入するなら？うーん…練習は週に1度くらいならいいですよ。(30代女性)

■ ボランティアレポート②

Let's Start ボランティア

ボランティア活動に興味がある小中学生・高校生を対象とした、あいぽーと主催の事業「Let's Start ボランティア」。今回は、高校生を対象に、子育ての分野について学び、ボランティア活動に挑戦してもらいました。



入門編
7/27

入門編は熊本市総合子育て支援センターの古庄所長からの講義です。子どもの見守りボランティアを行うにあたって、熊本市の子育て支援の状況や、乳幼児と触れ合う時に配慮するポイントなどを学びました。



実践編
8月上旬~下旬
※数回に分けて実施

いよいよボランティア挑戦です！ 本荘保育園3階にある「総合子育て支援センター」は今日もたくさんの親子連れで賑わっています。



子ども達の姿に思わずニコリ♪



抱っこしていいかな〜ドキドキ！



準備からしっかりお手伝い



初めはドキドキして、どんなふうにしてよいか戸惑っていた高校生たちですが、古庄さんに教わったことを思い出し、まずは笑顔で明るく挨拶から！ 子どもたちの可愛らしいしぐさや自由奔放な姿に癒されながら、楽しい時間を過ごすことが出来たのではないのでしょうか。



熊本市総合子育て支援センター所長 古庄さん

高校生が来てくれて子ども達も楽しそうでした。参加した高校生から、「出産は痛い聞き、出産したくないと思っていたけど、ボランティアを通して母親になりたいと思うようになった」と感想をもらい、そのきっかけになれたことを嬉しく思います。

あいぽーとボランティアレポート

eyes volunteer report

市民活動支援センター・あいぽーとでは、多くの市民のみなさんを巻き込んだボランティア活動をたくさん企画しています。今回は、年々参加者が増加し、中心市街地の一大ボランティア事業となっている「火の国まつり おてもやん総おどり翌日の“街なか清掃”」と、初めてのボランティアを応援する「Let's Start ボランティア」の2つをレポートします。

■ ボランティアレポート①

火の国まつり おてもやん総おどり翌日の “街なか清掃”

8月3日(土)に実施された「火の国まつり・おてもやん総おどり」。会場となった熊本市中心市街地をキレイにすべく、翌日の早朝に「街なか清掃」を実施しました。事業をスタートした平成18年には50名程度だった参加者数も、年々増加し、参加定員が設けられるほどの人気事業に成長しました。今年も早朝とはいえ、例年のない暑さの中、382名(個人164名、21団体214名、運営ボランティア4名)の方々にご参加いただきました。また嬉しいことに高校生の方が約100名も参加いただき、集まったゴミは45リットルサイズのゴミ袋34袋分になりました。



～参加者のみなさんのおかげで、熊本の街がますます「美しい街」になりました～



市長と一緒に清掃でき、とても身近に感じ、もっと熊本市のことを知りたいと思いました。(参加団体より)
帰省しての参加でしたが、熊本市をきれいにしたいという方がこんなに多くいることにびっくりしました。熊本出身者としてとても誇りに思います。(個人での参加者より)
学生のできるボランティアを探して参加しました。あいぽーとのことを初めて知りました。(学生の参加者より)

ボランティアに参加した団体

今回ご参加いただいた21の団体です。(順不同) ありがとうございます!

- | | | | |
|--------------------------|-----------------------|---------------------------------|------------------------|
| ■ダイダイン株式会社 熊本支店 | ■日立キャピタル債権回収 株式会社 | ■株式会社 日立製作所 | ■熊本信愛女学院同窓会 養護会 |
| ■日立グローバルライフソリューションズ 株式会社 | ■日立キャピタル 株式会社 | ■株式会社 日立物流九州 | ■さわやかボランティアーズ |
| ■株式会社 日立ビルシステム | ■株式会社 九州日立システムズ 中九州支店 | ■KMバイオロジクス株式会社 | ■火の国ダンスブラッシュ 実行委員会2019 |
| ■日立キャピタルNBL株式会社 | ■旭電業 株式会社 | ■明治安田生命保険相互会社 熊本支社 熊本第一マーケット開発室 | ■三益式 |
| ■日立キャピタルオートリース 株式会社 | ■株式会社 日立ハイテクフィールドイング | ■熊本市シルバー人材センター | |
| ■日立トリプルウィン 株式会社 | | ■株式会社 熊本シティエフエム | |

特定非営利活動法人 優里の会

ステップアップ助成

助成事業名 「里親制度の普及啓発と支援を強化するための事業」

助成金額 190,000円

毎年里親制度の普及啓発を目的として講演会を開催していますが、今回は親子支援には何が必要かを参加者とともに考えるための講演会を開催しました。また、毎年参加している区民祭り・はあもにフェスタに加えて、ショッピングセンター等でも広報啓発活動を行い、より多くの市民に里親制度を理解してもらえるような活動を行いました。



うえき自然塾

ステップアップ助成

助成事業名 里山での親子自然体験活動

助成金額 130,000円

自然豊かな里山を活動の場として、親子での自然体験活動を行いました。四季折々の体験活動を毎月1回設定(1月を除く)し、午前9時から午後2時の間で、食べる、作る、遊ぶことを活動の基本として活動を実施しました。4月:ピザを焼こう 5月:マコモ植えと飯ごう炊飯 6月:小川で遊ぼう 8月:そうめん流し 9月:栗拾い 11月:ピザを焼こう 12月:ミニ門松作り 2月:シイタケの駒打ち



ことう文庫の将来を考える会

ステップアップ助成

助成事業名 「ことう文庫の本がみんなの居場所です」

助成金額 110,000円

ことう文庫が持っている、子どもの心に寄り添い、生きる力を育む本を中心に置いた以下の事業を行いました。1.本の紹介データベースを作り、本の良さ、本の力を発信 2.毎週の開館時に行ってきた工作や体験についても、データベースを作り発信 3.多世代交流事業も本を中心に置き、お気に入りの本を紹介し合う形で行う



オープンハウス“KATARO”

スタートアップ助成

助成事業名 地域の高齢者(特に孤かな高齢者)の元気づくり、生きがいづくり活動

助成金額 100,000円

孤かな高齢者に声をかけお誘いし、みんなで楽しくお茶を飲みながらおしゃべりを月に3回定期的に開催。家庭的な温もりを提供し、参加者の心を和ませ、話をしながら、心の支えとなり励まし合う、ひと時を過ごしました。みなし仮設の人たちにも参加を呼びかけ、その他に地域の社協、ささえりあ、民生委員との連絡を密にし、情報交換にも力を入れました。



特定非営利活動法人 健康生活応援くまもとプロジェクト

スタートアップ助成

助成事業名 健康寿命の延伸を支える健康生活応援講座「ワクワクくまもと健康塾」

助成金額 100,000円

健康づくりは、身体機能の向上訓練のみならず、“body”、“mind”、“spirit”といった心身の健康バランスを総合的に保持・増進させることが重要であるとの認識のもと、医療・介護・認知症・ヨガ・食を組み合わせた講座を6回シリーズで開催しました。第1回:疾病予防と健康づくり講演 第2回:介護予防実践指導 第3回:認知症予防実践指導 第4回:ヨガ実践指導 第5回:健康食づくり実践指導 第6回:オレオレ詐欺防止講話・ヨガ実践指導



NPO法人 熊本県難聴者中途失聴者協会

スタートアップ助成

助成事業名 難聴者・中途失聴者のコミュニケーション力、社会参加力向上のための講座

助成金額 100,000円

難聴、中途失聴当事者を対象に、自身の障がい特性の理解や障がいの受容を促し、社会参加を支援することを目的としたセミナーを開催し、難聴・中途失聴という障がいの特性への理解を深めることができました。1回目:「聴覚障害を知る」 2回目:合理的配慮についてのDVD視聴 3回目:聴覚障がい者のための社会資源について 4回目:聴覚障がい者のための便利なアプリ紹介



NPO法人 ガット

スタートアップ助成

助成事業名 熊本市立小・中学校の学校図書館リニューアル事業

助成金額 100,000円

熊本市内の小・中学校の司書、学校図書館担当者を中心に本事業の計画を提案し希望校を募り、視察・課題の把握・改善内容と方法を考案。計画に基づき、夏休み中に2校(飽田西小学校・壱川小学校)のリニューアル作業を実施しました。リニューアルした壱川小学校図書館に全国学校図書館協議会事務局長を招き、学校図書館活性化に向けた講習会も開催。その後、事業のまとめとして広報誌やウェブサイトでの広報も行いました。



熊本転入ママの会 くまてん

スタートアップ助成

助成事業名 転入ママ ウェルカム会

助成金額 100,000円

まずはウェルカム会により、熊本が転入ママを歓迎する気持ちを表し、SNSや全国規模の口コミにより拡散することで、熊本の良さを県外へも示し、家族帯同転入を促しました。転入してすぐのママには熊本を良く知ってもらい、友達を作ってもらうことで、地元感覚で過ごせるよう配慮。また熊本の生産物やサービスを利用してもらい、熊本への消費を促し、全国へも発信してもらうことができました。



熊本市市民公益活動支援基金 くまもと・わくわく基金 平成30年度 助成事業の成果レポート

平成30年度熊本市市民公益活動支援基金「くまもと・わくわく基金」は以下の14団体14事業に助成を行い、よりよい熊本市を目指し、熊本独自の地域課題につながる事業が実施されました。

- ・ステップアップ助成事業……………9事業 助成決定総額 1,285,396円
- ・スタートアップ助成事業……………5事業 助成決定総額 500,000円

熊本観光ボランティアガイド くまもとよかとこ案内人の会

ステップアップ助成

助成事業名 外国人観光客向けガイド語学研修

助成金額 250,000円

熊本城だけでなく水前寺成趣園など多くの見どころをスマートに説明できるように、日常から外国語会話のスキルを維持しておく必要があります。当会では、MICE施設完成後や2019年以降に予測される外国人観光客増加に対する準備として、継続的に語学研修を進めています。外国からお客様をしっかりとした会話力をもってお迎えするために、従来の会員同士の研修に加え外部講師を迎えた更に高度な研修とともに外国語ガイドの人数を増やす努力を進めています。



NPO法人 ディスカバリーくまもと

ステップアップ助成

助成事業名 熊本城を訪れる外国人を英語でガイドする為の次世代講座

助成金額 170,000円

2019年に熊本で開催される女子ハンドボール世界選手権大会とラグビーワールドカップ、また2020年の東京オリンピックと、多くの外国人が熊本の観光地を訪れると思います。海外からのゲストやツアーリストを英語でガイドできる若者を育成するため、平成30年度は熊本市内の高校生(34名)を対象に「生きた英会話」ができるガイドを養成することを目的としました。高校生たちが熊本市の活性化に主体的に貢献するとともに熊本の観光復興にも貢献できるようサポートしました。



特定非営利活動法人 教育支援プロジェクト・マスターズ熊本

ステップアップ助成

助成事業名 地元の小中学校への教育活動支援事業

助成金額 140,000円

設立当初から地域の小中学校に出向き、学校から要望のあった支援活動を行ってきました。加えて、震災後は先生方の負担がこれまで以上に重くなっている実態があります。子どもの多様な実態に対応するために精神的に負担感を抱いている先生方への傾聴活動を実施するとともに、特に増加傾向にある特別支援の必要な子どもへの見守り・寄り添い支援も行いました。11年間のこれまでの実績を踏まえ、行政の枠内ではできない細かく迅速で柔軟な支援を実施しました。



NPO法人 くまもとオカリナの会

ステップアップ助成

助成事業名 熊本地震復興支援第3回「くまもとオカリナッセ」

助成金額 80,000円

世界で活躍する我が国のオカリナ演奏の第一人者である大沢聡氏をゲストに迎え、オカリナ愛好者による演奏会第3回「くまもとオカリナッセ」を開催しました。韓国から2団体16名の参加をはじめ、山梨、千葉、兵庫、広島、福岡など国内外から多数参加いただき、これまでの実績を超える130名以上の参加となりました。熊本におけるオカリナの普及促進に寄与するとともに、熊本地震から力強く復興する姿を広く内外にアピールすることができました。



熊本の大气汚染を考える会

ステップアップ助成

助成事業名 熊本の大气汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動

助成金額 180,000円

大気汚染測定運動東京連絡会の協力を得ながら、夏季と冬季の年2回、熊本市内を中心に県内400ヶ所の大気汚染の測定を実施し、熊本の大气汚染の状況を調査しました。また、「熊本の大气汚染状況について」のパネル展や講演会などの実施活動を通して「環境にやさしい生活」を心掛ける市民を増やすとともに会員の増員に努めました。



NPO法人 身近な犯罪被害者を支援する会

ステップアップ助成

助成事業名 犯罪被害者等への理解と被害に遭われた方への相談窓口の周知対策

助成金額 35,396円

犯罪被害者等への理解と被害に遭われた方への相談窓口の周知対策として 1.犯罪被害者遺族の想いについての講話 2.犯罪被害者等の支援制度と支援の内容についての報告及び相談窓口の周知 3.各地域に出かけて公民館で講座(市内北区、南区、西区)を実施しました。



**特定非営利活動法人
熊本子ども囲碁普及会**

平成25年7月設立。
青少年の健全な心の育成に寄与することを
目的として、囲碁教室や、学校、
保育園・幼稚園、育成クラブでの囲碁講座を
開催し、一人でも多くの子どものために
囲碁を知ってもらうため
普及活動をしています。
[http://www6.plala.or.jp/
kumamoto/](http://www6.plala.or.jp/kumamoto/)

どんな事業？

平成26年度助成
「児童クラブにおける囲碁普及モデル事業」
熊本市の7つの児童クラブに指導者を派遣し、
囲碁のルール、石のとり方、
逃げ方や勝負の決め方などを繰り返し指導。
延べ4,890名の児童に、
囲碁の楽しさを伝え、
囲碁の普及に努めました。

くまもと・わくわく基金 その後の話

くまもと・わくわく基金の助成を受けた団体が、その後どのような発展を見せたのかを追跡するこのコーナー。今回取材する団体は、平成26年度に助成を受けた「特定非営利活動法人 熊本子ども囲碁普及会」です。現在では150名以上の参加者が集まる大規模な交流大会を開催するようになった同団体。これまでの道のりを追跡しました。



理事長 福間 喜一郎さん
副理事長 宮川 秀樹さん
理事 田中 信夫さん
事務局長 (助成当時) 西山 育子さん

囲碁は世界一の頭脳ゲーム！
想像力、集中力、
発想力を育てます。

Q 設立のきっかけは？

平成23年、熊本市内の6カ所の囲碁教室の代表者が集まり、任意団体「熊本子ども囲碁普及会」を結成しました。子ども達をとりまく環境にテレビゲームや携帯電話ゲームなどが溢れていることを憂慮し、日本の伝統文化である囲碁を、なるべく幼少期から覚えてもらおう、というのが目的です。囲碁は子どもの健全育成に極めて有効で、幼少期だけでなく、その後の人格形成にも寄与できると考えています。その後、法人格を取得すれば社会的信用もアップし、保育園・幼稚園や小中学校等への普及活動が展開しやすくなるの思いから、平成25年7月に認証を受けて法人化しました。

Q 設立当時の活動は？

任意団体の結成後は毎月1回、県内の囲碁関係者に向けて「熊本子ども囲碁便り」を発行していました。また、県内の子ども囲碁教室の生徒交流会を年間4回実施することにしました。大変だったのは活動の資金づくりです。資金ゼロからのスタートでしたが、賛助会員になって頂いた方々に助けられて、道具類などを揃えることができました。法人会員になっ



て頂いた企業も数社ありました。社長さんが囲碁が好きで、当団体の役員との繋がりができたり、囲碁がきっかけで就職につながったり、なんてこともありました。

Q くまもと・わくわく基金との出会い
NPO法人の認証を受けて法人化したのが平成25年。そのときに、あいぼーとからわくわく基金について紹介を受け、申請の準備を始めました。会のメンバー以外にも、協力して下さる囲碁愛好者の方がいて、その方々に指導員になっていただいていたのですが、わくわく基金を利用して報償費をお支払いすることができるようになりました。

Q 助成事業スタート！

基金の助成が決定し、翌年から事業がスタートしました。向山、白川、清水、桜木、鮎田南、託麻原、尾ノ上の7つの小学校での児童クラブで囲碁講座を行うというものです。私達会のメンバーそれぞれが開いている教室にももちろん小学生は来ていますが、学校に向向いの囲碁教室というのは、私達にとっても初めての経験です。全くの未知数でしたが、入ってみてびっくりしました。おとなしく勉強している子もいれば、走り回る子もいました！1年生から3年生までの子ども達ですから、それは騒ぎますよね(笑)。



日頃自分たちで楽しむ囲碁と、元氣な子ども達に教えるという事は勝手に

Q 助成から5年。その後の発展は？

小学校の囲碁クラブは少しずつ浸透していき、翌年まで続きました。学校関係者との交流も進み、教育委員会からも評価いただいたようです。今でも、画図保育園、第二画図保育園、ルンビニー幼稚園、出水小学校、熊本高校、清泉保育園、双羽幼稚園、菊陽西小学校、七城小学校、泗水小学校、菊池高校、八代市の保育園(1カ所)で普及活動を行っています。クラブで囲碁を習ったのがきっかけで興味を持ち、それぞれの地域で囲碁教室に関わるようになった子もいます。

子ども達への普及も、少しずつですが

Q 今後の夢は？

この活動を続けていき、「全世代で囲碁をする人が増える」のが夢です。今の子ども達の親世代である30〜50代には、囲碁をやる方が非常に少ない。それゆえか、「どうやら子どもの脳を鍛えるのに囲碁が良いらしい」ということで教室を訪ねてくる親御さんがとても多いですね。若いお父さん、お母さんが一緒に習うこともあります。



■活動の広がり

設立当初	
交流大会の参加者	約50名
囲碁教室	市内6カ所
↓	
現在	
交流大会の参加者	約140~180名
囲碁教室	県内16カ所

小さいころには、普通に身の周りにあった囲碁。助成事業では苦勞されたそうですが、囲碁と小学生の話になると皆さんの熱意が伝わってきます。皆さんのお話を聞いて、子ども達に囲碁を普及させるということがどんなに大変な事を改めて感じました。その活動の最初のお手伝いに「くまもと・わくわく基金」が使われたことを嬉しく思います。



熊本市市民公益活動支援基金 くまもと・わくわく基金

令和元年度助成事業には、14事業のご応募をいただき、12事業への助成が決定しました。

・ステップアップ助成事業……………10事業 ・スタートアップ助成事業……………2事業

ステップアップ助成事業

NPO法人 くまもとオカリナの会

助成事業名
熊本地震復興支援
第4回「くまもとオカリナッセ」

オカリナの普及活動と熊本地震からの復興を支援し、内外にアピール。第4回となる今回は中国からのゲスト演奏を加え国際色豊かに実施。国内外に熊本の文化はもとより地震からの復興をアピールする。

ステップアップ助成事業

NPO法人 ディスカバリーくまもと

助成事業名
熊本市の隠れた観光地を
英語でガイドする為の講座

古い町並みが残る碩台・黒髪校区内の観光地を、外国人観光客に向けて案内するための「英語でガイド養成講座」を実施。本年度は各校区の小学生と保護者が一緒に参加することで、地域の活性化にも寄与する。

ステップアップ助成事業

NPO法人 ガット

助成事業名
熊本市立小・中学校の
学校図書館活性化事業

熊本市内の小・中学校の司書(司書補助員)、学校図書館担当者を中心に呼びかけて希望校を募り、図書館の活性化、改善のための相談や改善案の提案を行う。また、図書館担当者に対して、講師を招いての講習会などを行う。

ステップアップ助成事業

NPO法人 熊本県難聴者 中途失聴者協会

助成事業名
難聴者・中途失聴者のコミュニケーション、
社会参加力向上のための講座

難聴、中途失聴者が自分の障がいについての理解を深め、社会参加に必要な知識や社会資源等を学ぶためのセミナー・ワークショップを実施。合わせて講演会も開催し、関係団体・教育機関関係者、企業等にも公開する。

ステップアップ助成事業

NPO法人 福ねこ舎

助成事業名
福ねこ舎 地域文化活動事業

障がい者、高齢者をはじめ地域住民の楽しみとして毎月開催するコンサートや展示会、落語会などの内容をさらに充実。地域や参加者のニーズを把握し、住民が精神的に豊かな生活を送れるように、運営する人材を育てる。

スタートアップ助成事業

NPO法人 ブライトパル熊本

助成事業名
“伝統行事を楽しむ”親子いけ花

華道を通じ、伝統文化等の継承・発展と、子どもたちの豊かな人間性を育む。七夕、クリスマスなど型にとらわれず自由な発想で親子各々が花を生け、四季を感じ、親子で共に伝統行事を更に楽しむ機会を創出する。

ステップアップ助成事業

NPO法人 しらさぎ

助成事業名
熊本城石垣・清掃ボランティア活動

熊本城の石垣除草作業のうち、草木や葛の掻き集め、地上より届く箇所の除草、城内清掃などを実施。今年度は第一高校隣接の石垣と古城堀端公園の清掃を予定。市民参加の年中行事として継続化することを最大のテーマとする。

ステップアップ助成事業

傾聴ボランティア くまもと

助成事業名
震災仮設住宅の被災者一人一人の話を
耳を傾け、元気を取り戻すお手伝いをする

震災仮設住宅に残る被災者を毎月訪問し、傾聴によって心の癒しと安定、自己肯定感の回復(被災者の自立)の手伝いをする。また傾聴の意味と意義、傾聴ボランティアの重要性を広く周知するための公開講座を開催する。

ステップアップ助成事業

うえき自然塾

助成事業名
里山での親子自然体験活動

豊かな自然の中、親子で思いっきり体を動かして、友だちと遊びながらたくましさや優しさを培うことを目指し、毎月1回季節に応じた野外体験活動を実施。作る・食べる・遊ぶを軸に、各種の体験活動を行う。

ステップアップ助成事業

NPO法人 でんでん虫の会

助成事業名
イベント出店活動・料理教室、
実習体験交流会による居場所づくり

イベント出店により会員の意識向上や孤立の防止、料理教室により調理をしながら食を楽しむ機会を作り人とのつながりや生きる喜びを味わうための機会を創出する。また実習体験交流会による居場所づくりも行う。

ステップアップ助成事業

ことう文庫の将来を 考える会

助成事業名
本を通して地域がつながり、
子どもをはぐくむ文庫へ

図書事業として開館と本の貸し出しを行うほか、過去に実施した工作や体験、年齢ごとのオススメ絵本の紹介などをデータベース化し発信する。また、文庫の維持管理と広報事業、Book Cafe開催と夏祭りへの参加も行う。

スタートアップ助成事業

NPO法人 くまもと 新創生プロジェクト

助成事業名
「おもてなし」講座の開催

「おもてなし」を勉強するための公開講座(無料)を開催。海外の食生活や文化、考え方を学ぶと同時に、自国の食文化やアイデンティティも学ぶことで、お互いの文化を伝えあうコミュニケーション力を高める。



熊本市市民公益活動支援基金 くまもと・わくわく基金



「くまもと・わくわく基金」へのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

熊本市民の皆さま、法人・団体等の皆さまからのご寄附は、令和元年7月10日現在、24,696,737円となっております。ご協力に厚く御礼申し上げます。今号では、平成31年1月1日から令和元年7月10日の間にご寄附をいただきました皆さまへ感謝の意を込め、以下にご寄名を掲載させていただきます。皆さまのさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【冠寄附】

● 東京エレクトロン九州株式会社 様 …………… 1,000,000円

【一般寄附】

● 株式会社 熊本市リサイクル事業センター 様 …………… 7,156円

《ご要望により寄附額非公開の方》

- NPO法人 スポレク・エイト 様
- 株式会社 オークス熊本 様
- 株式会社 お菓子の香梅 様
- 株式会社 熊本シティエフエム 様
- 株式会社 バスト24 様
- 熊本新明産業 株式会社 様
- 有限会社 石翔 様
- 有限会社 オー・エス収集センター 様

※その他、掲載を希望されなかった方 2名 様

寄附をお考えの方

「くまもと・わくわく基金」への寄附は、地域活動推進課窓口へ直接寄附金をお持ちいただく方法と、事前に必要事項を記入した「寄附申出書」を地域活動推進課へ送っていただき、その後返送された「納付書」をもって金融機関にて寄附金をご入金いただく方法があります。他にも熊本市役所庁舎1階に募金箱を設置しております。寄附額に制限はありませんが、2,000円以上ですと、地方公共団体に対する寄附として「ふるさと納税」扱いとなり、税制上の優遇措置を受けることができます。また、「くまもと・わくわく基金」への寄附は、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」でもお申込みできます。寄附のお申し込みやお問い合わせは、お気軽にあいぼーとまでご連絡ください。

あいぼーと TEL: 096-366-0168
ホームページ http://www.kumamoto-aiport.com/kumamoto_wakuwaku/

令和元年5月21日(火)に、30年度助成事業の事業報告会を開催しました。報告会の様子を収めた動画をあいぼーとホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



くまもと・わくわく基金を活用して社会貢献しませんか？

NPOやボランティア団体等の市民公益活動を寄附というカタチで応援(社会貢献)することができます！その応援(社会貢献)の方法のひとつとして『寄附金付自動販売機』があります！

【寄附金付自動販売機とは？】

各事業所や店舗で新規に設置、または既存の自動販売機を『寄附金付自動販売機』として設置し、売上の一部を寄附することができる制度です。市と協定を結んだ飲料水メーカー(提供事業者)が、代行して寄附を納入します。

【寄附金付自動販売機のメリット】

- ① 何年にもわたって設置することができるので、無理なく息の長い社会貢献ができる
- ② 自由に寄附額を設定でき、少額から始めることができる



アクティブNPO

今回紹介するのは、2017年に設立された「多胎サークル『ダブルハッピー』」です。双子ママの不安を和らげ、双子だからこその子育ての楽しさ、大変さを共有するためのサークルとして活動しています。団体の立ち上げから現在の活動、今後の展開をメンバーの松永さん、小野さん、志賀さんにインタビューしました。



入園できるかも心配です。1人の枠があっても、2人で一緒に入園できる園を探さなくてはならないので入園の可能性が狭まっています。

また、子育てには色々な考え方がありますが、「平等」という考え方も双子の場合、悩むことが多いです。双子だから平等に育てなければと思いつきストレスになりがちです。例えば「抱っこ」する場合、同じ時間、回数を抱っこしてあげるのが「平等」だという考え方もあります。でも、兄弟姉妹でも満たされ度合いは違うのです。5回の抱っこで満足する子どももいれば、100回抱っこしなければ満足しない子どももいます。その子、その子の満たされ度合いに配慮し、「平等」とする考えの方が良いように思います。不安感が強い子ども、案外ひとりで平気な子ども、ひとりひとりの性格を見極め、日ごろの様子をみながら、必要



な時に必要な手を差し伸べることが「平等」ではないかと考えています。

でも…こんなに素敵♪双子の子育て

双子はお腹の中から一緒だからなのか、とても仲が良く親友のようです。いつも楽しそうに二人で遊んでいます。生まれて数カ月経ったころから、言葉は出ないけれど、お互い通じ合っているようでした。親から見ても羨ましい関係です。成長とともに子ども同士で遊んでくれるので、親は見守るだけでいいこともあり、家事がはかどるなど助かることも多い気がします。また、お揃いの服を着ることができるのも楽しみです。「ダブルハッピー」では、お揃いの洋服やグッズの譲渡会を行っています。無料で気に入った洋服やスタイ、靴下などを持て帰れますよ。

もっと子育てを楽しんで欲しい！

月1回、座談会や悩み相談会、双子グッズや服の譲渡会を開催しています。ベビーマッサージやパネルシアターなどのイベントを行うこともあります。平日開催が多いのですが、数カ月毎に土日にも開催し、仕事を休んでママも参加できるようにと考えています。7月はタレントの荒木直美さんをゲストに講演会を開催しました。荒木

大変さも、楽しさも。

幸せもダブルです！

小野さんが団体を立ち上げたきっかけは

2回目の妊娠が双子だとわかった時、身近に双子ママがいなかったため、雑誌やネットで情報を収集しました。ところが、「双子」のキーワードで出てくる情報は妊娠リスクばかりで、うれしい妊娠のほがだんだん不安に。そんな時、知り合いから先輩の双子ママを紹介してもらいました。体験談を聞いたり相談したりすることで、次第に不安を取り除くことができました。最近では、不妊治療の影響で双子や多胎児の妊娠が増えているそうです。妊娠期間から子育てを楽しんで欲しい、ママたちの不安を取り除く受け皿になりたいと思ったのがきっかけです。

こんなに大変！双子の子育て

「対一の子育てはどうか対処法がありますが、対二になると物理的に両方泣かせないようにするのは無理です。2人同時に

さんも双子(現在22歳)のママであり、自身も双子として育ったことから、実体験を踏まえたたくさんエピソードを聞かせてもらいました。



講演会に続いて開催された座談会では子育てトークが盛り上げられました。「もっと世の中に甘えていいんだよ」「いつも頑張ら過ぎず、手抜きも悪いことではない」「子どもを預け、自分を立て直す時間を取ることも大切」と荒木さんや先輩ママ達から温かいアドバイスも。

多胎サークル「ダブルハッピー」

双子ママ達で立ち上げたサークルです。不定期(月1回)で座談会や悩み相談会、グッズや服の譲渡会を開催しています。

【予約不要】直近で予定している活動は9/25(水)…座談会、10/26(土)…先輩双子ママによるお話です。妊婦さんも家族参加もママだけ参加も大歓迎!

場所:市民活動支援センターあいぽーと
時間 10:00~12:00 参加費:100円

ダブルハッピー
<http://www.facebook.com/w.happy.kumamoto/>

この会を続けている理由は、ママが外出することへの自信に繋がって欲しいからです。双子ママたちにとっては外出することはとても不安を感じます。1人で2人の子どもを連れて外出することになるので、荷物が多くなる上にトイレも大問題。「このトイレならベビーカー(二人用)と一緒に入れるかな?」と前もって下調べが必要で「バスや電車の移動中に泣いたらどうする?」などと考えると家に閉じこもりがちになってしまいます。この「双子ママの集い」への参加が外出への自信につながり、もっと子育てを楽しめるようになってくれたら嬉しいです。先輩ママの話や聞いたり、相談したりすることで気持ちが楽になりますよ! 妊娠中は特に不安になりやすいので、妊婦さんもぜひ参加していただきたいです。

取材後記

今回の取材では双子の子育ての大変さだけでなく、双子だからこそのママたちの明るさ、逞しさを感じました。精神的にも物理的にも大変な子育てを共有できるママたちがいること、人

数字で見る“あいぽーと”

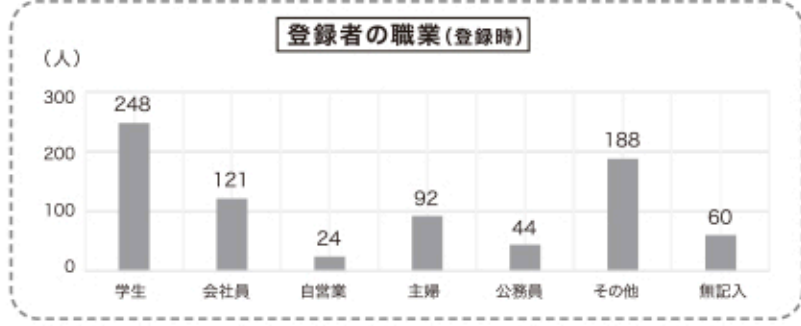
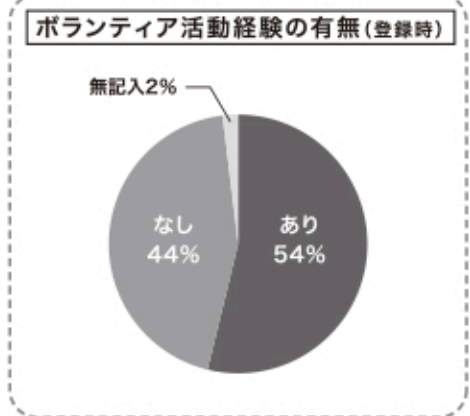
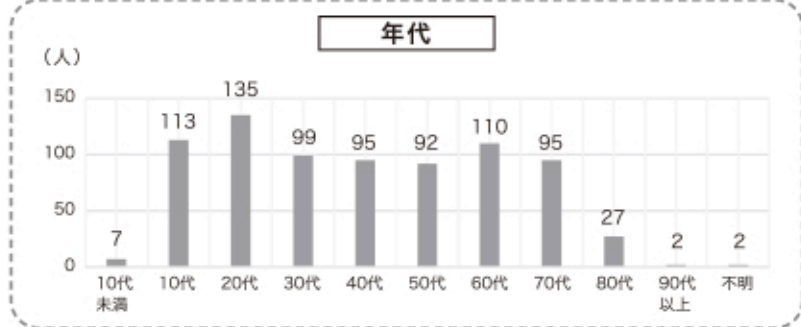
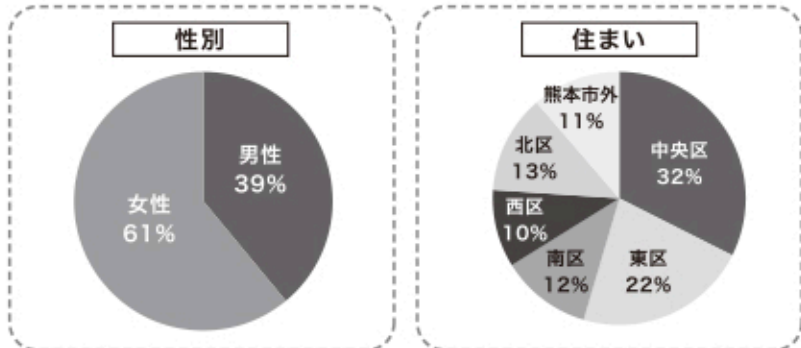
今回は、あいぽーとに登録されているボランティアの個人登録者『よかよかボランティア登録者』の実態を数字で見ました。

よかよかボランティア登録者数：777件(令和元年7月末現在)

【登録者の実態】

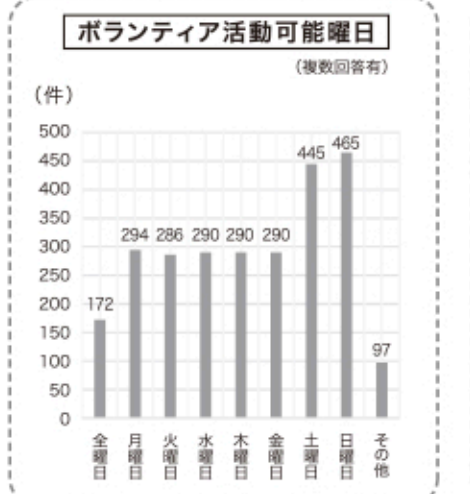
登録者の6割が女性、4割が男性という状況です。年代的には10代から70代まで、ほぼ同数の方が登録されています。登録者のお住まいは中央区、東区の割合が高く、熊本市外から市内に通勤、通学されている方が1割ほどいました。

また、すでにボランティアを経験されている方も多く、登録時にボランティア活動の経験がある方は5割を超えました。登録時点での職業について、近年では学生の方の登録が非常に多くなっている傾向があります。



【活動希望実態】

登録者の活動可能曜日は平日が4割弱、週末では6割近くの方が活動可能と回答しています。関心がある活動分野としては、「保健・医療・福祉」や「子どもの健全育成」、「まちづくり」などの回答が多くなっています。



あいず川柳道場

今回のお題

親

毎力作拵いのあいず川柳道場。今回のお題は「親」です。みなさんの身近にある「親」や人生における「親」を川柳に込めていただきました。

親から子 孫に遺伝か ひょうげもん (中央区 かじ)

子のために 生きたつもりが 生かされた (西区 月幼)

やかましく 言うなぞ親父 70ぞ (北区 長寿一家の長男坊)

父は言う 齢になったら わかるたい (南区 でんちゃん)

正月着 母の手作り 枕元 (東区 エイコ拝)

いつまでも 子離れできず うざがられ (東区 子離れ中の母)

親知らず 痛む我が身も 親の恩 (沖縄県竹富島 八尾建樹)

帰るたび 増えてる親の しわ白髪 (中央区 河野光彦)

老々介護 母は悠々 百目指す (東区 まさお)

お弁当 作ってくれて ありがとう (菊陽町 しゅんぶう)

近く見え 遠すぎる距離は 母の背中 (中央区 カモメ)

盆に食う ミヨウガ万十 母の味 (中央区 本田教)

気を引く為 不惑の父は 手に seventeen (南区 いでっち)

しあわせを 親に感謝し 手を合わす (西区 福篤誠也)

次号のお題は1月にあいぽーと窓口にて発表致します。詳しくはあいぽーとまで。